ぶんけい

教育ほっとにゅーすかわら版

教育の小径



-財)総合初等教育研究所参与 **北俊夫先生**



今月のことは

無病息災

体のどこにも病気がなく、健康で達者なことをいいます。「息」には「消滅させる」という意味があります。呼吸のことではありません。

教職の特質を考える

- ●教師の仕事は子どもを一人前の社会人に育てることです。教育には、その成果がすぐに表れないという特質があります。
- ●教職に自信と誇りと気概をもって、教師としての専門性と協働性と人間性を高めるため、日々精進したいものです。

今月の 10月第2月曜日 スポーツの日

昭和39年10月10日の東京オリンピック(開会式) を記念して、昭和41年に「体育の日」として制定されました。令和2年に「スポーツの日」となり、平成12年から現在の日にちになりました。

教師の仕事の特質

教師の仕事(教職)には、ほかの多くの仕事と違い、次のような特質があります。これらは教師の仕事の難しさであり、魅力でもあります。

まず、教師は生きている生身の人間を相手に育てることを仕事にしていることです。自動車や洋服など工業製品を作る仕事とは異なります。一方、米や野菜、果物などの栽培や、牛やにわとりなどの飼育は生きている植物や動物を対象にしています。これらはいずれも「育てる」といわれます。

育てることには、成長の過程を身近に観察できる魅力があります。ただ、工業製品を作ることと違い、育てる仕事は基本的に失敗が許されません。失敗は死につながることもあり、やり直しができないからです。それだけに緊張感の伴う重要な仕事です。

次の特質は、教師の仕事の結果に関わることです。跳び方のコツを教えると、跳び箱が跳べるようになります。 九九を教えると、掛け算の計算ができるようになります。このように、指導の内容によっては短時間に結果がでることもあります。

一方、思考力、判断力、表現力など の能力がはぐくまれたか。自他を尊重 し合う、優しい心が養われたかといった能力の育成や態度の涵養に関わることは、子どもに長期に関わり、時間をかけて地道に指導することにより、結果がでてきます。地域社会の一員としての自覚をもち、社会の発展に尽くす人間に成長したかどうかを見きわめるには、さらに時間が必要になります。

教師の仕事には指導の結果が比較的 短時間に見きわめられる側面と、長い 目で見なければ結果がわからない側面 の2つがあります。後者はともすると 指導において緊張感が薄れてしまうこ ともあります。

子どもたちは高校や大学などでの学 びを終えたあと、すべての人が社会人 になります。このことを考えるとにといる らず、社会づくりに貢献する人と、教 のであるといえます。このことは、教育 であるといえます。このことは、教育 は、人格の完 は会の形成者として必要な資質を備え た心身ともに健康な国民の育成を期 で行われなければならない」と れていることと一致します。

このように、教師の仕事は個々の子 どもの成長に深く関わっているだけで はなく、子どもたちが生きる社会のあ り方にも直結していることがわかりま す。ここに教職という教師の仕事の特 質があります。

自信と誇りと気概をもって

人づくり、社会づくり、国づくりに 貢献する教職という仕事を全うするためには、まずは上記した特質を受けと め、そのうえで、次の3つの視点から 教師としての人間修行に努めます。

第1は、教育のプロとしての専門性を高めることです。専門性には、学習や生活面の指導のほか、子ども理解や学級経営、保護者や地域とのマネジメントなど多岐にわたっています。これらは教師力でもあります。

第2は、協働性(同僚性)を身につけることです。学校は組織体です。教育活動にはすべての教師が分担し協働して取り組みます。組織の一員としての自覚をもち、それぞれの持ち味や個性を生かしつつ、協力し合いながら学校運営に携わることが求められます。

第3は、豊かな人間性をもつことです。教師であるまえに人間であることを踏まえると、社会人としての基礎・基本をしっかり会得することが大切です。「学校の常識は社会の非常識」といわれないようにします。

教師の仕事を全うするため、これからも自信と誇りと気概をもって教育活動に取り組んでいきたいものです。

0

新学級基礎知識

学級担任の危機管理

学級経営の基本は、すべての子ども が学級に居場所を感じ、安全な環境の なかで安心して学校生活が送れるよう にすることです。このことは学級担任 の重要な仕事です。

日々子どもたちと接していると、さ まざまな出来事と出会います。それら のなかには、例えば、子ども同士が喧 嘩した。学級でモノが無くなった。子 どもが給食を吐いた。鉄棒から落ちて けがをした。理科の実験中に事故が起 きたなど、生徒指導や学習指導、その 他の場面でさまざまな事故やトラブル に遭遇することがあります。

このような事故などは事前に想定す ることができますから、事故が起こら ないように予防することが第一です。 「予防こそ最大の危機管理」です。

万一事故などが起こったときのため に、問題への対処方法(マニュアル) を作成し、目に見えるところに掲示し ておきます。日ごろからマニュアルの 内容を確認します。マニュアルは問題 場面に応じて弾力的に運用します。

問題の発生時には迅速な対応が求め られます。その場面で重視したいこと は、人命と人権と安全の尊重、コンプ ライアンスの遵守、冷静沈着な判断力 と行動力、管理職への「報告・連絡・ 相談」、保護者への連絡と報告、専門 機関との連携・協力、そして周囲の子 どもたちへの指導と心のケアーです。

学級などで発生した事故やトラブル などにどのように対処したらよいのか をまとめた拙著に『こんなときどうす る!学級担任の危機対応マニュアル』 (文溪堂) があります。本書には40 の事例ごとに、問題の所在と対処法と 事前の対策が紹介されています。

■数常の動向●

ユニセフ (国連児童基金) のイノ チェンティ研究所は、先進国の子ども たちを対象に子どもの「幸福度」に関 する調査を実施し結果を公表しまし た。わが国の子どもの「幸福度」は36 か国中14位でした。前回調査の20位 から順位をあげました。

具体的にみてみると、子どもの死亡 率や過体重・肥満の子どもの割合など 「身体的健康」の分野は1位で、前回 と同じでした。身体面では幸福度が高 い結果でした。また、生活満足度が高 い子どもの割合、自殺率などを勘案し た「精神的幸福度」の分野は、32位 (前回は37位) でした。これは15~ 19歳の子どもの「自殺率」が他国と

子どもの「幸福度 | 調査

比べて高いことによるものです。自殺 率は日本が10万人当たり10.41人だっ たのに対し、調査対象国の平均は10万 人当たり6.24人でした。日本の数値 は1.7倍になります。

文部科学省は、「児童生徒の自殺予 防に係る取組について (通知) 」を 令和7年2月28日付に続いて、6月30 日付にも発出しています。

また、読解力・数学分野の学力、社 会的スキルの分野は、前回の27位から 12位に順位を上げました。

新型コロナウイルス感染症が世界的 に流行したことにより、子どもたちの 学力、精神的幸福度、身体的健康に著 しい低下がみられたとしています。

|連|載 先人の残した言葉 24

ペスタロッチ

自然は人間の力をすべて練習によって発達させる。 そしてそれらの力は使用することによって成長する。

この言葉は、スイスのチューリヒで生ま れ、ヨーロッパを代表する教育者であるヨ ハン・ハインリヒ・ペスタロッチが著した『隠 者の夕暮』のなかで述べられている一節 です。

ペスタロッチは、ルソーの影響を受け、 生涯を貧民の救済と貧しい子どもたちの ために、犠牲的な献身と愛情をもって教 育活動に取り組みました。子どもたちを 貧しさから乗り越えさせ、自立した人間に 育てあげることを課題にしていたのです。

本書の主題は「人間、王座の上に坐っ ている人も、あばら家に住んでいる人も、 同じであるといわれるときの人間、つまり 人間の本質、それはいったい何であるか」 という問いです。言い換えれば、人間が 幸福に成長し、生きるということはどの

ようにして可能なのかを追究しました。

そのカギは、人間の奥底にある清らか な幸福の力を信じ、それをはぐくむことだ と考えました。これが人間を幸福に導く 「自然の道」であり、ここにペスタロッチ の教育思想があります。人間は本来自己 を成長・発達させようとする内発的な意 思や力を内に秘めているという人間観に 立つものです。

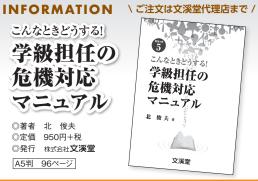
文部省発行の『小学校学習指導要 領社会科編(試案)』(昭和26年)の 表紙は、子どもたちに囲まれているペスタ ロッチの写真が飾られました。

小欄の執筆に当たっては、『教育名言辞 典』(東京書籍)、『新版現代学校教育大 事典』(ぎょうせい)を参考にしました。(完)

こんなときどうする! 学級担任の 危機対応

マニュアル ◎著者 北 俊夫

○定価 950円+税 ◎発行 株式会社 A5判 96ページ



「教育の小径」の すべてのバックナンバーを 文溪堂ホームページから お読みいただけます。

お知り合いの先生にも / お勧めください。



ぶんけい 教育の小径 検索

編集後記

本紙ウラ面右下のコラム「先人の残した言葉」は今 号で終了。次号から新連載が始まります。現時点 (9月初め)では、まだどんな連載になるのか編集子 も知らされていませんが、今まで同様、北先生の 数々の知見・ご経験に裏打ちされた興味深い連載 になることは間違いありません。読者の皆様に先ん じて読めることも、編集子の役得の一つです。(H記)



企画・編集:ぶんけい教育研究所 行: 株式会社 文溪堂 発 行 日:2025年10月1日